



白石東地区

下白石東町内会

下白石東町内会



会長 田森 澄夫さんにお話をうかがいました！

● 地域の特徴 ●

町内会加入世帯数は238世帯で、東北通と白石ころーどに挟まれた場所にあります。町内会館はありませんが、役員会は区域内の高齢者施設（グループホーム）などをお借りして開催しています。栄通はまなす公園からは、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。また、町内で月2回開催されているおしゃべりサロン「ロミ」は、高齢の方々が気軽に集える場となっています。

町内会の取り組み

下白石東町内会は昭和50年に設立し、令和7年で満50年を迎えました。

規模は比較的小さい町内会ですが、コロナ禍で地域活動が一時中断したことで、住民の皆さんとの接する機会が減り、地域の状況が把握しづらい時期が続きました。

そこで町内会では、役員や班長の協力のもと「外からの見守り」を意識した見守り活動に取り組んでいます。町内会の1班を5～6世帯と細かく設定することで、お互いに目が届きやすい体制をとっています。班長には回覧板や広報さっぽろの配布時、外出の際などに周囲へ気を配っていただくよう呼び掛けています。

最近は、社会だけでなく家族からも孤立している方が増えているように感じます。異変に気づいた場合は町内会長に報告してもらい、住民同士で気にかけることで、安心して暮らせる地域を目指しています。

また、町内会と住民がつながる機会として、行事にも力を入れています。若い世代が多く住んでおり、子どもたちを対象にした「子ども花火大会」を開催しています。町内の子ども約70名が参加し、大盛況となりました。

町内会役員の高齢化と役員不足に頭を悩ませていたなか、若い親御さんが新たに引き受けてくださったことも大きな喜びです。親御さんたちの子どもたちを育てていく地域を良くしたいという思いを感じています。役員会にもお子さんと一緒に参加してくれており、会の雰囲気も一段と明るくなりました。これからも若い世代とともに、安心して暮らせる温かい地域づくりを進めてまいります。



子ども花火大会の様子